

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮計画実用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東区葵三丁目計画 新築工事	階数	地下0階 地上18階
建設地	名古屋市東区葵三丁目2201番1、2202番、2203番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	289 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年3月1日
敷地面積	964 m ²	作成者	
建築面積	487 m ²	確認日	2021年3月1日
延床面積	7,564 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE 1.1 ★★★★★☆</p> <p>★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★☆☆☆☆</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:30%</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 82% ③上記+②以外の 82% ④上記+ 82%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺は、駅近で高層建築物が立ち並ぶエリアであるため、周囲に埋没しないよう各面に個性を持つ多面性を感じるファザードを創出し、シンボリックな外観デザインとした。また、アプローチにはボリュームのある緑化計画とし、居住者のプライバシーを確保しながらもゆとりを感じる外構空間とした。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>快適な住空間となるよう配慮</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高3.1m以上確保</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>境界線を積極的に緑化。近隣・街並みにも配慮</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率設備(給湯器)の採用</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>住戸便器に省水型衛生器具を採用</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐輪場を住戸数比100%確保</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)東区葵三丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル:




CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.4
LR1	エネルギー	3.5	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.4	
2. 自然共生	評価点 = 2.3	
3. 循環型社会	評価点 = 2.8	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。